

「平成30年度 岡山県学力・学習状況調査結果」の概要について

1 岡山県学力・学習状況調査の実施状況

(1) 調査の目的

個々の児童生徒の学力・学習状況を全国比較及び経年比較することにより、教育指導や教育施策の改善を図る。

(2) 学力調査の実施日 平成30年4月17日（火）

(3) 実施校数・児童生徒数等

	小学校			中学校	
	第3学年	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
受検校数	290校	289校	290校	120校	120校
県内受検者数	9,866人	9,978人	10,262人	9,917人	9,943人
全国受験者数	約8万人	約12万人	約13万人	約10万人	約10万人
実施教科等	国語、算数	国語、算数	国語、算数 質問紙	国語、数学 質問紙	国語、数学、英語 質問紙

2 学力調査の結果

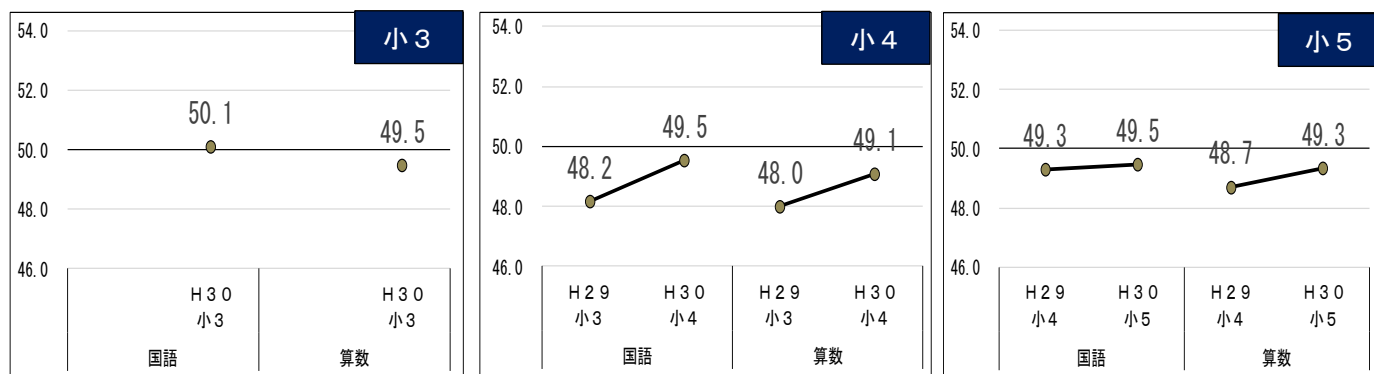
本調査は、全国値の正答率を50としたときの換算値（以下、「標準スコア」とする。）を用いる。なお、全国値は、調査結果返却時点での値である。

【小学校】

(1) 標準スコア

学年	年度	国語		算数	
		県	全国との差	県	全国との差
3年	H30	50.1	0.1	49.5	-0.5
	H29	48.2	-1.8	48.0	-2.0
4年	H30	49.5	-0.5	49.1	-0.9
	H29	49.3	-0.7	48.7	-1.3
5年	H30	49.5	-0.5	49.3	-0.7
	H29	49.0	-1.0	48.6	-1.4

(2) 同一集団における差の推移



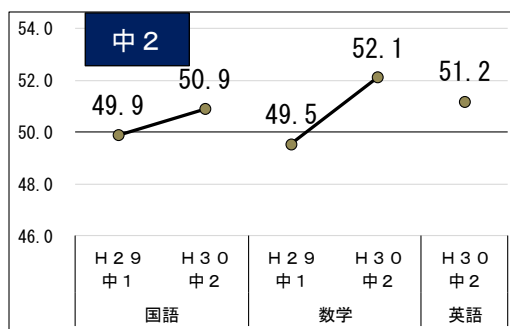
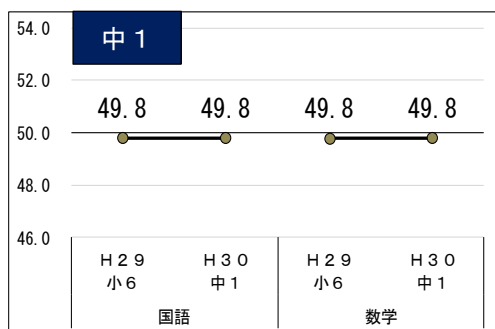
・小学校では、昨年度、課題であった低学年でのつますきの解消に成果がみられ、全国値との差が縮小しているが、全国値は下回っている。

【中学校】

(1) 標準スコア

学年	年度	国語		数学		英語	
		県	全国との差	県	全国との差	県	全国との差
1年	H30	49.8	-0.2	49.8	-0.2		
	H29	49.9	-0.1	49.5	-0.5		
2年	H30	50.9	0.9	52.1	2.1	51.2	1.2
	H29	49.9	-0.1	50.3	0.3	49.3	-0.7

(2) 同一集団における差の推移



- ・1年生では、国語の「書くこと」のうち、問題文の条件に従って、自分の意見を書く設問や、数学の百分率の設問に課題があり、改善が必要である。
- ・2年生では、3教科とも全国値を上回ったが、国語の「書くこと」のうち、問題文の条件に従って自分の意見を書く設問に課題がある。
- ・英語では、全領域（聞くこと、読むこと、書くこと）で全国値を上回ったが、条件付き作文や自分の考えについて表現する設問に課題がある。

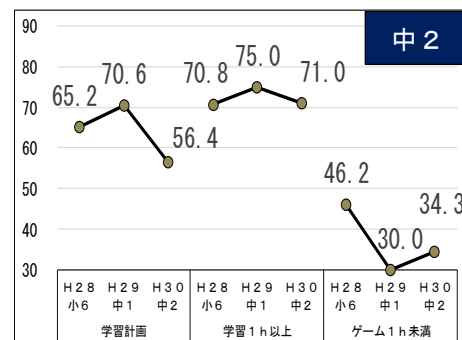
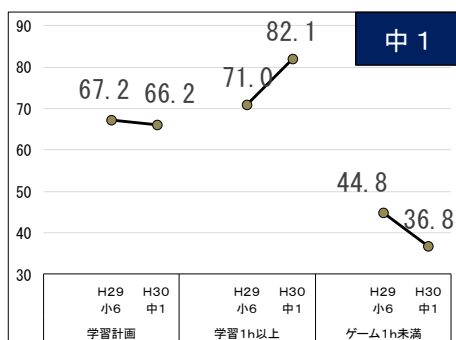
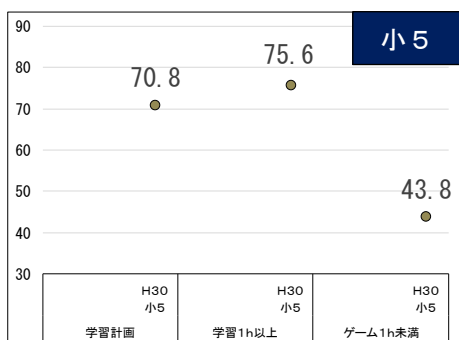
3 学習状況調査の結果

質問紙調査は、学習意欲、学習方法、学習環境等に関する調査である。

【これまで課題のあった項目】

- 1 自分で計画を立てて勉強をしていた。（学習計画）
- 2 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。（学習1時間以上）
- 3 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯式ゲーム、携帯電話・スマートフォンを使ったゲームを含む）をしていましたか。（ゲーム1時間未満）

各学年の学習状況調査結果における肯定的回答の割合 [単位：％]



- ・中学校1年生では、「学習1時間以上」が増加しているが、「ゲーム1時間未満」は減少しており、家庭での生活習慣の改善が必要である。
- ・中学校2年生では、「ゲーム1時間未満」が増加しているが、「学習計画」及び「学習1時間以上」は減少している。

4 これまでの取組の成果と課題

【学力状況】

- ・小学校では、岡山型学習指導のスタンダードに則った指導の徹底や、Web 評価支援システム等の活用により、基礎的な設問で改善傾向がみられるが、既存の知識や技能と問題場面を関連付けて解決を図る設問に課題がある。
- ・中学校では、2年生において、全ての教科で全国値を上回っているが、読み取った内容に自分の考えを付加して表現する設問には、課題がある。
- ・英語では、簡単なやり取りを扱う設問の正答率が高く、小学校外国語活動の内容を意識した言語活動が成果につながっているが、基礎的な英単語の習熟、条件付き作文や自分の考えについて表現する設問に課題がある。

【学習状況】

- ・小学校では、宿題プラス自主学習の取組が定着したことにより、望ましい学習習慣が身に付きつつあるが、その成果が十分には中学校に引き継がれていない。
- ・中学校では、「Stop! スマホ Start! スタディ!」等の取組により、平日1時間以上学習する生徒の割合の減少幅が縮小しているが、学習計画を立てる割合が減少している。

5 今後の取組

県教委の取組

【授業改善の推進】

- ・岡山型学習指導のスタンダードに基づいた授業づくりを全ての教員が確実に実施するよう、市町村教委へ指導助言を行う。

【個に応じた指導の支援】

- ・個に応じたプリントを作成できる Web 評価支援システムの活用や、成果を上げている学校・学年の取組の普及を図る。

【活用力を高める授業改善の支援】

- ・算数「はじめの一步」や英語「4技能をバランスよく育成するために」などの既存資料を活用し、技能活用型の授業について周知するとともに、基礎的な力と活用力を高める場面を設定する単元計画についての資料を作成する。

【望ましい学習習慣確立の支援】

- ・「Stop! スマホ Start! スタディ!」や、学習習慣形成事業等の好事例について、通信やHP、学力向上フォーラムでの報告等を通じて各学校への普及を図る。

各学校の取組

【授業改善の推進】

- ・校長が毎日授業参観し、教員にフィードバックするとともに指導教諭等の中核教員が、積極的な情報収集や授業公開を行うなど、OJT の充実を図る。

【個に応じた指導の徹底】

- ・県教委作成の教材や Web 評価支援システムを効果的に活用する。

【望ましい学習習慣の形成】

- ・「Stop! スマホ Start! スタディ!」等により、生徒が時間を管理する力を高める取組や、PTA と連携した家庭内でのルールづくりを更に推進する。
- ・小学校で身に付けた学習習慣を中学校に継承するため、小中連携の場において家庭学習における学習時間の目安、課題の質と量、適切な点検と評価方法等についても、協議する。

【参考】市町村別の状況

※ 学力調査の結果 標準スコア(教科別)

名称	小学校						中学校				
	第3学年		第4学年		第5学年		第1学年		第2学年		
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	数学	国語	数学	英語
岡山県(岡山市除く)	50	49	50	49	49	49	50	50	51	52	51
2 倉敷市教育委員会	50	50	50	49	50	50	49	49	49	51	50
3 津山市教育委員会	48	48	47	47	48	47	49	49	50	50	48
4 玉野市教育委員会	48	47	49	48	48	48	48	51	51	52	52
5 笠岡市教育委員会	51	49	49	49	49	48	49	49	52	53	52
6 井原市教育委員会	50	50	49	50	51	50	51	51	51	52	50
7 総社市教育委員会	51	51	51	50	50	51	51	51	51	52	51
8 高梁市教育委員会	51	50	50	49	49	49	50	50	51	52	52
9 新見市教育委員会	50	50	49	49	50	51	51	53	52	52	54
10 備前市教育委員会	51	50	51	50	50	49	51	51	52	53	54
11 瀬戸内市教育委員会	51	50	50	49	51	51	51	51	52	52	52
12 赤磐市教育委員会	50	49	49	49	51	50	50	49	50	52	51
13 真庭市教育委員会	51	50	48	49	48	49	49	50	51	51	48
14 美作市教育委員会	51	50	50	51	48	48	49	50	51	50	49
15 浅口市教育委員会	50	51	50	50	51	50	51	52	50	54	53
16 和気町教育委員会	49	47	49	48	49	48	48	48	53	54	53
17 早島町教育委員会											
18 里庄町教育委員会	50	50	49	51	50	50					
19 矢掛町教育委員会	51	52	53	52	50	50					
20 新庄村教育委員会											
21 鏡野町教育委員会	50	48	50	50	50	49					
22 勝央町教育委員会	51	49	49	49	48	49					
23 奈義町教育委員会											
24 西粟倉村教育委員会											
25 久米南町教育委員会	48	48	50	47	49	51					
26 美咲町教育委員会	51	48	51	51	50	50	49	47	52	51	49
27 吉備中央町教育委員会	51	51	51	51	48	47					
28 笠岡市・矢掛町中学校組合											
29 県立学校							64	61	63	64	66

※ 斜線の町村は、該当の学校が1校のため、公表の対象としない

※ 県立特別支援学校(小学部)は、受検者が少数であるため、公表の対象としない

※ 県立学校には、県立特別支援学校(中学部)、県立中学校・中等教育学校が含まれる